

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【公表番号】特表 2007-526091(P2007-526091A)

【公表日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2007-035

【出願番号】特願 2007-501971(P2007-501971)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 9 0

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象となる眼球内に眼内レンズを送達するためのカートリッジであって、
遠位端部および近位端部を有する長手方向軸に沿って配設された本体部と、
本体部の遠位端部に開口部を有する長手方向軸に沿って配設された先細ったルーメンと
を備え、

開口部と先細ったルーメンの少なくとも一部は、上側部分と下側部分とからなり、
それぞれの上側部分は、第 1 の幅を有し、かつほぼアーチ状の断面を有し、
それぞれの下側部分は、ほぼ水平方向に配設された断面を有し、かつ第 1 の幅より大きい第 2 の幅を有することを特徴とするカートリッジ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のカートリッジであって、
本体部の側部に長手方向に配設された翼部をさらに有することを特徴とするカートリッジ。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のカートリッジであって、
本体部は、長手方向軸に沿って配設された開口部を含む底部表面を有することを特徴とするカートリッジ。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のカートリッジであって、
開口部は、本体部の近位端部において開口する細長いスロットを有することを特徴とするカートリッジ。

【請求項 5】

請求項 3 に記載のカートリッジであって、
開口部は、挿入器ハンドピースのプッシュロッド先端部を受容するために配設されたことを特徴とするカートリッジ。

【請求項 6】

対象となる眼球内に眼内レンズを送達するための挿入システムであって、

長手方向軸と、眼内レンズを受容するための装填チャンバと、遠位端部に開口部を有する長手方向軸に沿って配設された先細ったルーメンと、長手方向軸に沿って配設された開口部を含む底部表面とを備えたカートリッジと、

先端部にサドルを含むプッシュロッドを有するハンドピースとを備え、

カートリッジをハンドピースの上方からハンドピース上に配置する際、先端部の少なくとも一部が通過できるように設けられた開口部が配設されることを特徴とするカートリッジ。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の挿入システムであって、

眼内レンズをカートリッジ内に配置するための包装システムをさらに有することを特徴とするカートリッジ。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の挿入システムであって、

包装システムは、トレイおよび装填ツールを有することを特徴とするカートリッジ。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の挿入システムであって、

包装システムは、蓋およびカバーを有することを特徴とするカートリッジ。

【請求項 10】

請求項 6 に記載の挿入システムであって、

ハンドピースは、プッシュロッドの下方に配設された隆起したプラットフォームをさらに有することを特徴とするカートリッジ。